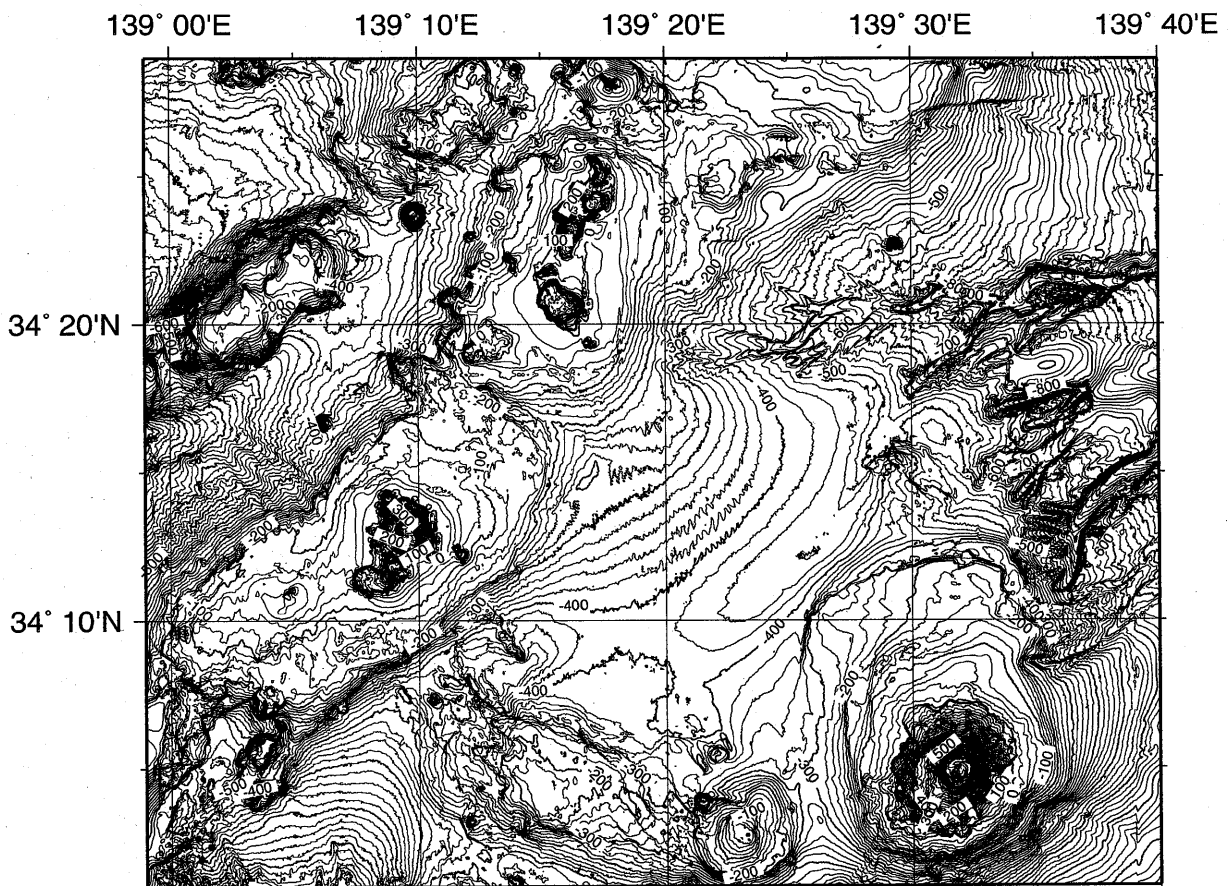


海上保安庁による三宅島西方海域の調査*

The investigation off west of Miyake-jima by Japan Coast Guard

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Japan Coast Guard



GMT 2001 Aug 31 12:08:31 2000 Miyake OBS exp. (HDJ SeaBeam2000 bathymetry) miyake2c.grd -Jm1:450000

第1図 三宅島・神津島・新島近傍の海底地形図。等深線間隔は20m。

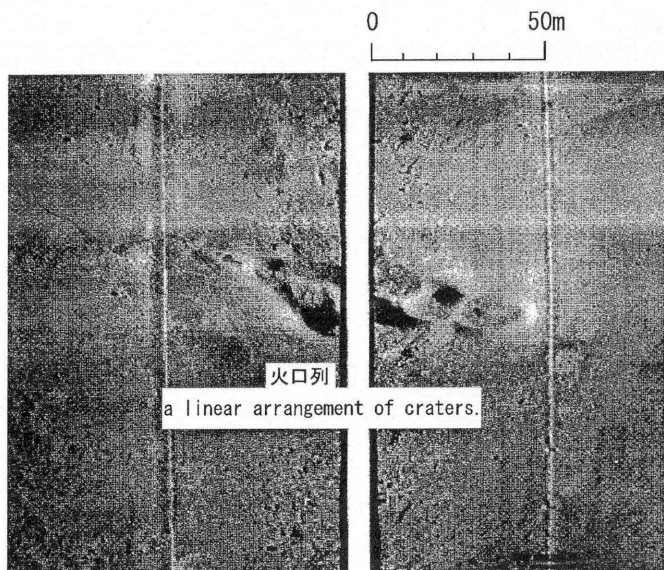
Fig.1 Bathymetric map around the Miyake-jima, Kozu-shima and Nii-jima area. Contour interval is 20m.

* Received 5 Sep., 2001

サイドスキャンソナーで得られた三宅島西方海域に生じた火山列

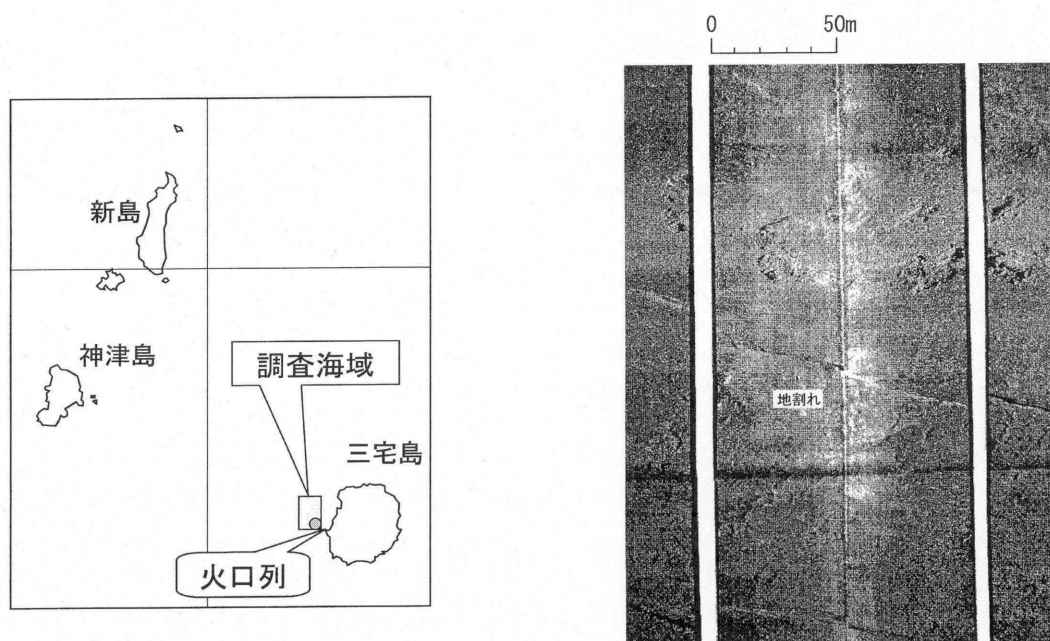
海上保安庁では、6月27日の海底噴火により変色水が見られたことから、7月5日に測量船「昭洋」（船長清水日出吉、3,600トン）により、マルチビームサイドスキャンソナーを用いた地形調査を実施した。

その結果、顕著な噴出物の痕跡は認められなかったものの、大鼻西方約1.5km（北緯34度05.2分、東経139度28.1分、水深85m）の海域において、東南東から西北西へ並んでいる火口を3箇所発見した。そのうち一番大きなものは、長径約50m、短径約11mの楕円形であった。また火口付近の海底には、今回の活動によりできたと思われる地割れが多数認められ、長いものは500m以上となっている。



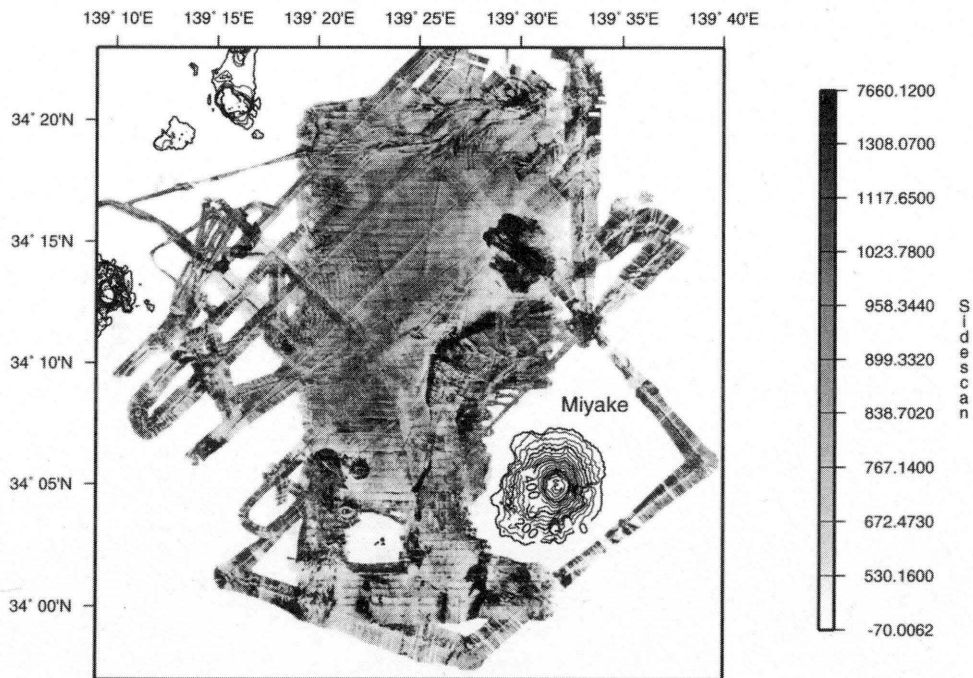
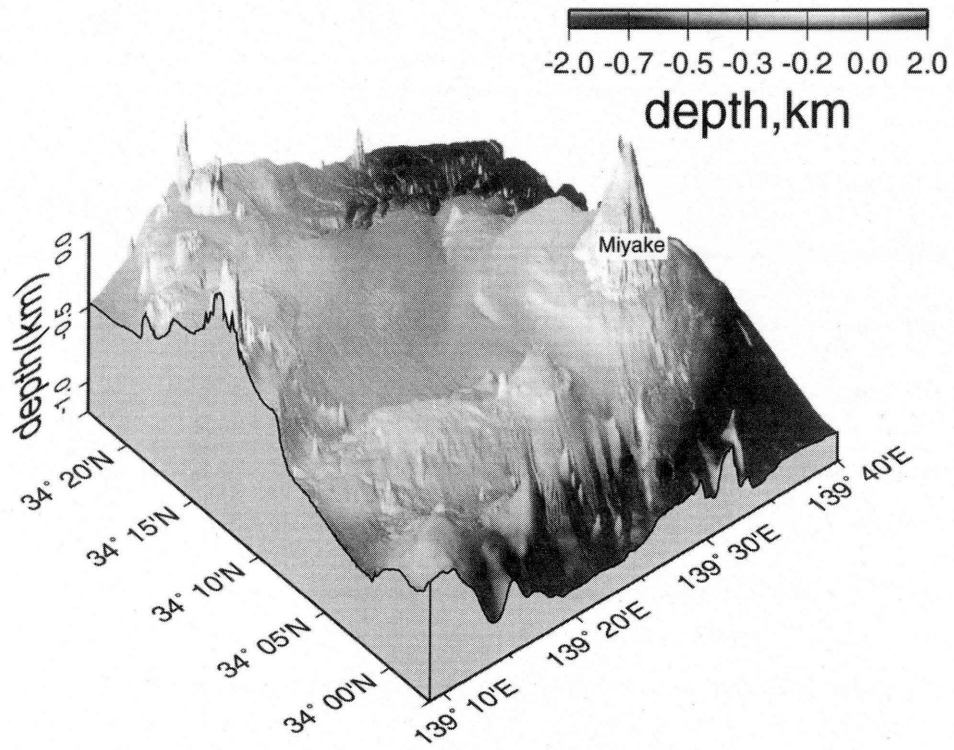
第2図 三宅島西方約1.5kmの海底に生じた火山口

Fig. 2 Location of the craters about 1.5km west from the coast of Miyake-jima.



第3図 三宅島西方海域に生じた地割れ

Fig. 3 Seabottom cracks in the western flank of Miyake-jima.



GMT 2001 Aug 31 11:40:34 2000 July W.Miyake SeaBeam2112 on Shoyo w_miyakess1.grd 1:550000

第4図 (上) 海底地形図の3次元表示。(下) 昭洋 Seabeam2112によって得られた海底音響画像。色の濃い部分が散乱強度の大きい領域に対応している。陸部の地形データは国土地理院による。

Fig. 4 (top) Three-dimensional view of seabeam topography. (bottom) Sidescan image. The blank areas on the image are data gaps and areas producing strong backscatter are shown in dark tone. The sidescan data were obtained by Seabeam 2112 system on S/V Shoyo.